

株式会社IBUKI 様

「Cagou IT点呼 for 白ナンバー」を導入して 法改正で義務付けられたアルコールチェックに対応 業務を最優先にしたコンプライアンスの徹底を実現

大手医療機器メーカーのビジネスパートナーとして、九州エリアで高度な医療機器の搬入・搬出、保守点検業務などを手がける株式会社IBUKI。地域密着型のビジネスの中で白ナンバーの社用車を利用する同社では、2022年4月に施行された改正道路交通法で義務化されたドライバーのアルコールチェックに対応するため、株式会社コアの「Cagou IT点呼 for 白ナンバー」を導入。従業員に負担をかけることなく、出張先からでもリモートで対応できる柔軟な点呼体制を構築し、コンプライアンスと安全管理の徹底を実現しています。

導入前の課題

- ▶ 改正道交法で義務付けられた白ナンバー車両のドライバーの点呼、アルコールチェックへの対応
- ▶ 従業員の業務を優先した新たな点呼体制の整備
- ▶ 事業拠点を横断した点呼業務とデータ管理の一元化

導入の成果

- ▶ 出張先からでもリモートで点呼と呼気チェックが可能
- ▶ 従業員の業務、スケジュールに対応した柔軟な点呼体制
- ▶ スマホを使った顔認証でストレスのない点呼を実施
- ▶ 事業の社会的信頼を支えるコンプライアンスの徹底



株式会社IBUKI
代表取締役
伊吹 謙一郎 氏

改正道路交通法で義務付けられた 白ナンバーのアルコールチェック

2022年4月に施行された改正道路交通法施行規則では、これまではアルコールチェックが義務付けられていなかった白ナンバーの社用車も、その適用対象となりました。飲酒運転の撲滅に向けた取り組みは大きな社会的意義がある一方、新たな法改正にどのように対応するかについて戸惑う事業者も少なくありません。九州エリアで高度な医療機器の搬入や保守点検などを手がけ、従業員が日常的に白ナンバー車両を利用する株式会社IBUKIも、こうした事業者の1つでした。代表取締役の伊吹謙一郎氏は次のように話します。

「当社は、主に医療機器の運送業務を担う長崎営業所と、医療機器のフィールドサービスを主業務とする福岡営業所の2拠点で事業を運営しています。長崎営業所は緑ナンバー車両の事業所として、すでにアルコールチェックを含めた運行管理体制が確立されていますが、新たな適用対象となった福岡営業所の白ナンバー車両について、いかに従業員に負担をかけずに点呼を行うかが課題となりました」

特に福岡営業所の従業員は白ナンバー車両

を使った出張が多く、対面での点呼ができないうことも多いことから、法令に準拠した安全管理をどのように実現するかを検討していたところ、かねてから取引のあったコアから提案されたのがクラウド型飲酒検査システム「Cagou IT点呼 for 白ナンバー」でした。「福岡営業所で点呼、アルコールチェックの対象となる従業員は9名です。出張が多いという業務の前提から、新たなツールはリモートでも簡単に点呼が行えることが必須の要件でしたが、Cagou IT点呼は私たちが求めるすべての機能を備えていました」（伊吹氏）

顔認証の機能で業務を優先した ストレスのないリモート点呼を実現

新たなツールの選定では、リモートによる点呼以外にも「Cagou IT点呼 for 白ナンバー」の顔認証の機能が大きな評価ポイントになったといいます。

「日頃の業務の中でも、さまざまなシステムに個別のパスワードを使ってログインするのは煩わしいものです。その点、顔認証に対応したCagou IT点呼は、車の中でもすぐにログインすることができ、従業員のストレスになることはありません。また、これにより安全運転管理者が目視で点呼を行える点は採用

顔認証によってストレスのない点呼、アルコールチェックが実施できる『Cagou IT点呼 for 白ナンバー』を導入したことで、従業員の業務を優先したコンプライアンスの徹底が実現しました

株式会社IBUKI 代表取締役
伊吹 謙一郎 氏

お客様プロフィール

株式会社IBUKI

1955年に長崎市で運送事業者として創業。2013年以降は医療機器関連のビジネスに進出し、現在はキャノンメディカルシステムズ株式会社のビジネスパートナーとして、高度な医療機器の保守点検・据付業務、搬入・解体搬出など、医療機器に特化したサービスを通じて医療現場に安心・安全を届けている。

<https://www.ibuki-go.com/>

株式会社IBUKI



の決め手となりました」(伊吹氏)
IBUKIにおいて、「Cagou IT点呼 for 白ナンバー」の正式な運用がスタートしたのは2022年9月。対面の制約がなくなったことで、福岡営業所で白ナンバー車両を利用する従業員の点呼、アルコールチェック業務は飛躍的に効率化しています。
「点呼のためのスケジュール調整や、無駄な待ち時間が発生しなくなったことは大きな成果です。福岡営業所の従業員は、業務に合わせて法改正前と同じように動くことができます。これは安全運転管理者である私にとっても同様です。結果的に、従業員も管理者も本来の業務を優先しながら、コンプライアンスを徹底できる体制が整っています」

「Cagou IT点呼」の全社導入による 拠点を横断した点呼の一元化も検討

「Cagou IT点呼 for 白ナンバー」の運用開始から約半年が経過した現在、操作などに関する問題が点呼業務に影響を及ぼしたことは一切ないといいます。
「使い方といっても、スマホの顔認証に続いて、アルコールチェッカーを使って呼気チェックをするだけのシンプルな流れですので、導入後はすぐに現場に定着しました。安全運転管理者用の管理画面もわかりやすく、スマホアプリの感覚で使えるため、いわゆる業務システムの新規導入のようにヘルプデスクに問い合わせる必要もありませんでした」(伊吹氏)
「Cagou IT点呼 for 白ナンバー」の運用が一段落し、すでにIBUKIでは次のステップに向けた新たな検討も開始しています。
「コアさんからは一般事業者向け(白ナンバー)だけでなく、緑ナンバーの運送事業者向けの点呼システムも提供されています。長崎営業所では既存の点呼システムが老朽化しており、点呼データの管理も紙のままです。運送事業者向けに開発されたこの製品であれば、電気化学式のアルコールチェッカーを使って確実な検査を実施し、コンプライアンスを徹底することができます。また、全社の点呼データをクラウド上で一元管理し、



電気化学式のアルコールチェッカーとスマホを連携させ、確実な検査を実施

分析活用も可能になります」(伊吹氏)
この環境が整えば、長崎営業所の運行管理者が不在のときでも伊吹氏が点呼を代行できるなど、全社の点呼業務の効率化はもちろんのこと、安全管理そのものの品質向上につながることは間違いありません。

最新のデジタル技術を活用した 「健康経営」のさらなる推進

IBUKIでは現在、健康経営の推進にも積極的に取り組んでおり、今回の「Cagou IT点呼 for 白ナンバー」の導入成果を、デジタルを活用した従業員の健康管理にも拡大していきたいと考えています。
「地域の皆様に医療機器をお届けすることが当社の事業ですから、今後は従業員の健康管理にもこれまで以上に配慮していく必要があります。ドライバーの運行管理に関しても、車載システムを使ったリアルタイムなアルコールチェックや居眠りの兆候の検知など、さまざまなソリューションが提供されるようになっていきます。当社としても、こうしたデジタルトレンドに追随していかなければならないと考えています。こうした点でも、コアさんには新たな提案を期待しています」(伊吹氏)
医療機器に特化したビジネスを通じて地域社会を支え続けるIBUKI。コアのソリューションを活用したコンプライアンスの徹底に向けた取り組みは、同社の事業の社会的信頼と従業員の健康を支える新たな価値を生み出しています。

※本事例の記載内容は2023年2月現在のものです。※本事例で記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。



製品ページ

<https://www.core.co.jp/service/iot/cagou-alc-white>



ソリューションに関するお問い合わせ

<https://info.core.co.jp/public/application/add/3761>

お問い合わせはこちらから

株式会社コア 関西カンパニー

<https://www.core.co.jp/>

Cagouサポート窓口(営業時間:平日 10:00~17:00 土日祝除く)

フリーダイヤル:0120-939-861 MAIL:nioi-sales@core.co.jp